助成金交付申請書記入要領

活動費助成

記入例

平成２４年度　大阪府地域福祉振興助成金　交付申請書

受付番号

（様式第１号　その１）

【a：活動費助成用】

a	申請日	平　成　２４年　１　月　３１　日		代表者印 ※法人格をもつ団体は代表者印（理事長印や会長印等）。 ※法人格をもたない団体は、代表者の私印。
b	★団体名 （法人格も記載）	ふりがな　○○○のかい ○○○の会		㊞
c	代表者 （役職・氏名）	ふりがな　かいちょう　○○　○○ （役職）会長　（氏名）○○　○○		
d	団体の所在地	〒540-8570 大阪市中央区大手前２－１－２２		
		電話　06－6944－6657	FAX	06－6944－6681
e	連絡担当者 （※昼間の連絡が可能な連絡先をご記入ください。）	連絡先	☑①事務所　□②自宅　□③勤務先　□④その他（　　）	
		担当者氏名	ふりがな　△△　△△ △△　△△	電話　（06）6944－6657
				FAX　（06）6944－6651
				e-mail　chiiki@sbox.pref.osaka.lg.jp
	書類等の送付先住所及びあて名	送付先住所	（団体の所在地と異なる場合記載してください。（同一の場合は空欄）） 〒　　-	
		あて名		
f	団体の設立年月日	□昭和　☑平成 13 年　4月	団体の人員構成	役職員数　4人
				職員・スタッフ数　6人
				会員数　80人
g	法人格の有無	□有	☑無	
h	団体種別	□①NPO 法人 □②社会福祉法人 □③財団法人・社団法人 □④その他（　　）	☑⑤ボランティア団体 □⑥当事者団体・組織 □⑦その他（　　）	
i	活動分野	□①高齢者　□②身体障がい　☑③知的障がい　□④精神障がい　□⑤児童 □⑥その他（　　）		
j	★主な活動地域	○○市、△△市		
k	団体のこれまでの活動状況	平成 13 年　○○の関係者（児童・家族等）が集まって発足 平成 14 年より、日帰り外出訓練を開催 平成 15 年～現在　○○教室を月 2 回程度開催（△△にて）		
l	これまでの助成決定回数	平成 22 年度以降の回数 （今回の申請は含みません）	2回	うち、平成 22 及び 23 年度での助成決定実績
				福祉活動機器購入　□有　☑無
				普及啓発物作成　□有　☑無

★助成金の交付が決定した団体については、次の内容を大阪府ホームページ上で公開します。

公開予定内容：①団体名、②主な活動地域、③事業区分、④助成金交付決定額、⑤事業名、⑥事業概要等

記入上の注意事項等

a：申請日・・・・・・・・・・・・申請年月日を記入してください。

b：★団体名・・・・・・・・・・団体の名称は、略称ではなく正式名称を記入してください。

c：代表者名及び押印・・団体においての代表者名を記載してください。押印については、法人格を持つ団体は、代表者印（理事長印や会長印等）を押印してください。法人格を持たない団体は、代表者の私印を押印してください。

d：団体の所在地・・・・・・団体の住所（郵便番号を含む）電話番号、ファックス番号を記入してください。

e：連絡担当者
及び書類等送付先・・申請事業において、事務的な連絡を行う担当者の氏名、昼間連絡がとれる連絡先電話番号（携帯電話可）、ファックス番号及びメールアドレスを記入してください。
書類等の送付先については、団体の所在地の住所と異なる場合に記載してください。
送付先のあて名も記入してください。

f：団体の設立年月日
及び人員構成・・・・・・・団体の設立年月日と団体の人員構成を記入してください。

g：法人格の有無・・・・・・法人格の有無について、該当するものを選択し、□に✔（チェック）を記入してください。

h：団体種別・・・・・・・・・・団体種別について、該当するものを選択し、□に✔（チェック）を記入してください。
（複数選択可）

i：活動分野・・・・・・・・・・活動分野について、該当するものを選択し、□に✔（チェック）を記入してください。
（複数選択可）

j：★主な活動地域・・・・・主な活動地域を記入してください。

k：団体のこれまでの
活動状況・・・・・・・・・団体のこれまでの活動状況について簡潔に記入してください。

l：これまでの
助成決定回数・・・・・・平成22年度以降からの助成実績の回数を記入してください。
但し、今回の申請は含みません。
また、平成22年及び23年度で申請事業区分「福祉活動機器購入」と「普及啓発物作成」の助成を有無についても、必ず該当するものを選択し、□に✔（チェック）を記入してください。

記入例

（様式第１号　その２）　　【a：活動費助成用】

m	★申請事業名	○○サマーキャンプ				
n	★事業区分	□福祉活動機器購入 ☑社会参加推進 □講演会等開催 □普及啓発 □その他(「その他」は、福祉基金運営委員会が特に必要と認める場合のみで、事業内容を詳細に伺います。)				
o	申請事業実施期間（※機器購入日）	平成24年 8月 1日 ～ 平成24年 8月 2日				
p	申請事業の主な実施場所（※機器設置場所）	所在地	○○市○○町○○ 1丁目1－1			
		名 称	○○スポーツセンター			
q	申請事業の参加予定人数	合 計	50人	左記人数内訳	①自団体役職員・自団体職員/スタッフ・自団体会員	30人
					②自団体以外のボランティア	5人
					③上記以外	15人
r	★申請事業の概要（200文字以内で簡潔にまとめてください。）	（いつ、どこで、誰を対象に、どのような目的で、どのような事業を実施するのかを200文字以内で簡潔に記入してください。機器購入の場合は、購入機器の品名，数量を記入し、それをどのような目的で利用するのかを簡潔に記入してください。） 「○○サマーキャンプ」と題して外出が困難な知的障がい者、支援者、学生ボランティアが一緒になって、日常生活訓練や学習会などを平成24年8月1日～8月2日で○○スポーツセンターにおいて実施し、知的障がい者の自立への機運を高めることを目指す。				
s	申請事業の事業計画（記入しきれない場合は、別用紙に記入し添付してください。）	（どのような事業を計画しているのか具体的に記入してください。特に「社会参加推進」を申請された団体は、事業実施場所における活動内容について、当日の行程や交流予定等具体的に記入してください。機器購入の場合は、品名・品番・仕様・数量・保管方法・保管場所を記入してください。） 1日目 ○○集合 ⇒ バスにて現地 ⇒ ○○スポーツセンター 【事業実施場所での活動計画】 ①知的障がい者とボランティア等がグループにわかれ、ディスカッションし、交流の少ない障がい者同士が相互理解を深める。 ②専門の講師の指導のもと、日常生活訓練実施。 ③レクリエーション（キャンプファイヤー）実施 ④相談会随時実施 2日目 ⑤前日に引き続き、専門の講師の指導のもと、日常生活訓練実施。（午前中） ○○スポーツセンター ⇒ バスにて ⇒ ○○（解散）				
t	申請事業の目的・必要性	（申請事業が府民福祉の向上に寄与することを目的として実施する活動なのか、また、なぜその事業が必要であり、かつ、なぜその場所や手法で実施するのかを簡潔に記入してください。） ○府民福祉の向上の寄与するため、外出することが困難な障がい児者が、家族だけではなく、ボランティアなどの支えにより、自立へのきっかけにつながる事業を実施する。 ○助成金をうけることにより、より専門的な講師等を招聘することができ、充実したカリキュラムを編成できる。 ○場所の選考にあたっては、①多人数が一度に専門的指導が受けることができる。②キャンプファイヤーができる場所である③費用面及び移動距離が妥当かどうか。①～③を検討した結果、○○スポーツセンターに決定した。 ○事業実施にあたっては、交流の少ない障がい者同士が相互理解を深めやすい内容とするため、ディスカッションやレクリエーションを実施する。また、相談会を実施することにより、日常生活の問題解決にもつなげる。				
u	申請事業を実施して期待される成果及び効果等	（助成金を使って助成事業を実施することで事業がどのように今後発展するのか。また、事業を実施することでどのような成果や効果がもたらされるのかを具体的に記入してください。） ○事業を実施することにより後日、障がい者の生活能力も向上され、社会参加・自立への機運が高まる。 ○参加者に対して参加前・参加後にそれぞれアンケートを実施し、次回プログラムの改善に役立てる。 ○当日実施した日常生活訓練などをわかりやすく絵図等でまとめ、関係先に配付し、活動を知ってもらい、重層的な支援の輪づくりにつなげる。				

ｍ：★事業名・・・・・・・・事業内容がわかる事業名を簡潔につけてください。

ｎ：★事業区分・・・・・・・事業区分について、該当するものを選択し、□に✔（チェック）を記入してください。
（複数選択可）

ｏ：申請事業実施期間
（※機器購入日）・・・申請事業の開始時期は平成 24 年 4 月 1 日以降とし、平成 25 年 3 月 31 日の間で終了するよう設定してください。

ｐ：申請事業の主な実施場所
（※機器設置場所）・・・申請事業実施場所（機器設置場所）について、所在地と名称を記載してください。

ｑ：申請事業の
参加予定人数・・・・・・事業参加予定人数について記載してください。
また、 参加予定人数の内訳を記載してください。
※福祉活動機器購入や普及啓発でパンフレットを作成し配付するのみの場合など参加予定人数のカウントができない申請の場合は、0 と記入してください。

ｒ：★申請事業の概要・・・・申請事業の概要について、200 文字以内で簡潔に記載してください。

ｓ：申請事業の事業計画・・・・・ 審査に大変重要な項目です。明確かつ具体的に記載してください。

ポイント

◎ 社会参加推進で申請される場合は、当日の行程、その行程先での事業実施内容、行った先での交流状況など、**単なる親睦会旅行、観光旅行や世代間交流事業**ではないことがわかるように明確かつ具体的に記載してください。

ｔ：申請事業の目的・必要性・・・・ 助成事業を実施する目的・必要性を具体的に記載してください。

ｕ：申請事業を実施して
期待される成果及び効果等・・・助成事業を実施することで期待される成果・効果等を具体的に記載してください。

記入例

（様式第２号）　　【a：活動費助成用】

助成金額計算書

区分		費目	金額	積算内訳 ★できるだけ内訳を具体的に記入してください。 ★手引きの3ページ及びよくある問い合わせ【Q＆A】をよくお読みいただき申請してください。
支出	助成対象経費	1　福祉活動機器購入費 （様式第 1 号その 2 で事業区分「福祉活動機器購入」を申請された場合のみ記入）	0 円	（様式第 1 号その 2 で事業区分「福祉活動機器購入」を申請された場合のみ記入）
		2　普及啓発物等作成費 （様式第 1 号その 2 で事業区分「普及啓発」を申請された場合のみ記入）	0 円	（様式第 1 号その 2 で事業区分「普及啓発」を申請された場合のみ記入）
		3　交通費	87,000 円	サポーター（ボランティア）に対する実費弁償 @500×4 人＝2,000 円 バス借上代 80,000 円　高速代 5,000 円
		4　会場使用料	60,000 円	○○スポーツセンター使用料 @30,000×1室×2 日間＝60,000 円
		5　講師謝金	100,000 円	（物品や菓子折りなどの謝礼は経費として認められません。領収書がない場合も経費として認められません。1人10万円まで（実費相当の交通費も含む）） 専門員への謝礼 @50,000×2 人＝100,000 円
		6　手話、要約筆記等 ボランティア謝金	10,000 円	（ボランティアへの実費弁償（交通費）については、「3交通費」に計上してください。） 看護師ボランティアへの謝礼 @10,000×1 人＝10,000 円 ※謝礼対象者を具体的に記入してください。
		7　その他事業費	12,500 円	ポスター作成@50×50 枚＝2,500 円 当日資料作成@200×50 部=10,000 円
		小計（A）	269,500 円	（助成金の対象となる経費です。）
	助成対象外経費		425,000 円	行事保険 10,000 円　駐車場代 5,000 円 食事代@1,000×50 名＝50,000 円 宿泊代@7,000×50 名＝350,000 円 その他雑費 10,000 円
		小計（B）	425,000 円	（助成金の対象とはならない経費です。）
	支出合計（C）		694,500 円	（C）=（F）=様式第3号（イ）

収入	大阪府福祉基金 地域福祉振興助成金申請額（D）	200,000 円	（上限 20 万円） （D）≦（A）（千円未満は切捨てです。）
	上記以外の収入（E）	494,500 円	・（E）は（F）の内 10％以上が必要です。（円未満は切捨てです。） （満たさない場合は交付できません。） ・（E）＝様式 3 号収入科目③＋④＋⑤（②がある場合申請不可） ※下記必ず計算のうえ、記入してください。 （F）×0.1=（　69,450　）≦（E）
	収入合計（F）	694,500 円	（F）=（C）=様式第3号（ア）

大阪府福祉基金地域福祉振興助成金交付要綱第 3 条の規定により、必要書類を添えて下記金額を申請します。

大阪府福祉基金地域福祉振興助成金 交付申請額（G）	200,000 円	（G＝D）（千円未満は切捨てです。）

対象となる経費については、3 ページの 4-(1)-②活動費助成の対象経費及び 9 ページのよくあるお問い合わせ【Q&A】をよくお読みください。

【1　福祉活動機器購入】
・平成22年及び23年度に助成実績があれば申請できません。具体的にどのような「福祉活動」に用いるのかを審査します。
・様式第 1 号その 2 で事業区分「福祉活動機器購入」を申請された場合のみ記入してください。
【2　普及啓発物等作成】
・平成 22 年及び 23 年度に助成実績があれば申請できません。
・様式第 1 号その 2 で事業区分「普及啓発」を申請された場合のみ記入してください。
【3　交通費】
・公共交通機関を用いる場合は、合理的経路を用いて要する実費相当額です。
・社会参加推進活動のバス借上げ代の場合は、社会通念上妥当と判断される実費相当額が上限です。
・ボランティアの交通費は、公共交通機関等の実費相当額を計上できます。
【4　会場使用料】
・講演会開催等に必要な会場費です。（マイクなどの付帯設備を含みます。）
【5　講師謝金】
・同一人物（又は同一団体）に対する上限は、年間累計で 10 万円までです。
・物品や菓子折りなどの謝礼は経費として認められません。
【6　手話、要約筆記等ボランティア謝金】
・謝金の対象は、「手話、要約筆記等のボランティア活動」（構成員以外の方で、一定の専門的技能・知識が必要な活動をしていただく場合）のみです。
・謝礼対象者を具体的に記入してください。
（例　看護師ボランティアへの謝礼@〇〇×〇（人）＝〇〇〇円）
【7　その他事業費】
・上記 1～6 以外で「補助対象」となる経費を記入してください。助成対象外経費は算入できません。
後日対象外経費であることが判明した場合は、ご返金いただきます。
・できるだけ具体的に記入してください。（例　ポスター作成@〇〇×〇〇〇〇（枚）＝〇〇〇円）
【小計(A)】
・これが、「助成対象経費」となります。

【助成対象外経費】
・補助対象事業のうち、「助成金の対象とはならない経費」を記入してください。
（補助対象事業から切り離すことができる経費は、記入を省略することができます。）

【支出合計(C)】
・収入合計(=F)と様式第 3 号の(イ)と同じ金額になります。

【助成金申請額（D）】
・助成金の申請希望額です。（千円未満切捨てです。）
【上記以外の収入（E）】
・様式第 3 号の収入科目③＋④＋⑤の合計と同じ金額になります。（②がある場合は申請できません。）
・積算内訳の欄に（F）×0.1 の金額を記載してください。（E）は（F）のうち10%以上が必要です。満たさない場合は交付できません。
【収入合計(F)】
・支出合計（＝C)と様式第 3 号の(ア)と同じ金額になります。
「補助対象事業」に他の助成金が含まれていると、助成の対象とはなりません。

【交付申請額(G)】
・これが、助成金申請金額です。（千円未満は「切捨て」です。ご注意ください。）

（様式第３号）　　記入例　　【a：活動費助成用】

平成２４年度申請事業予算書（見込み）

（円単位）

収入科目	金　額	備考
① 大阪府地域福祉振興助成金	200,000 円	上限20万円 様式第2号(D)と同じ
② 上記以外の助成金	0 円	ある場合は申請不可
③ 会費・参加費・協賛金	494,500 円	年会費より 44,500 円 参加費@9,000×50 名
④ 寄附金	0 円	
⑤ 上記以外の収入 【内訳】	0 円	
合　計(ア)	694,500 円	(ア)=(イ)=様式第 2 号(F)

支出科目	金　額	備考
⑥ 旅費交通費	92,000 円	ボランティア交通費・バス代 高速代・駐車場代
⑦ 会議費	60,000 円	会場使用料
⑧ 謝金	110,000 円	専門員謝礼 看護師ボランティア謝礼
⑨ 印刷費	12,500 円	ポスター・資料作成代
⑩ 事務消耗品費	10,000 円	事務用品等
⑪ 活動費	400,000 円	食事代・宿泊代
⑫ 雑費	10,000 円	行事保険
⑬	円	
⑭	円	
⑮	円	
合　計(イ)	694,500 円	(イ)=(ア)=様式第 2 号(C)

申請事業の収入については、大阪府福祉基金地域福祉振興助成金以外の府や市町村からの助成金、その他の助成金等は一切含まれていません。また、上記について団体の申請事業の予算書(見込み)であることを証明します。

平成24年1月31日

代表者印
※法人格をもつ団体は代表者印（理事長印や会長印等）。
※法人格をもたない団体は、代表者の私印

団体名　　〇〇〇の会

代表者役職・氏名（役職）会長　（氏名）〇〇　〇〇

【収入科目】
・該当する収入科目に金額を記載してください。
・③会費・参加費・協賛金については、備考欄にそれぞれの内訳を記入してください。

・合計(ア)は合計（イ）及び様式第 2 号（F）と同じ金額になります。

【支出科目】
・支出科目の内訳ごとに金額を記載してください。
・支出科目ごとに備考欄に金額の内容を記載してください。

・合計(イ)は合計（ア）及び様式第 2 号（C）と同じ金額になります。

・申請日と同じ日付を記入してください。
・様式第 1 号その1と同じ印を押印してください。